

# 作業補足シート

8 : 2 0

分野	端末処理	作業名	Cat.6A モジュラプラグの成端
目的	現場成端用 Cat.6A 用モジュラプラグの成端を行う。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. キャップとカバーを挿入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めにキャップ、カバーをケーブルに挿入しておく。</li> <li>・ ケーブルに通したキャップにカバーを軽く締め付けておくことで、ケーブルから外れて紛失等を防ぐことができる。</li> </ul>		0 : 2 3
2. ケーブル外被をカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーブル外皮をカットする位置を軽くもんでおくと外皮と内側の心線が分離し、カットする際に心線に傷が入りにくくなる。</li> <li>・ ケーブルストリッパでケーブル外被を先端から約 40mm の位置に切れ込みを入れた後、カッターで縦に軽く（内部のアルミ遮蔽テープを傷つけないため）切れ込みを入れ外被を除去する。</li> </ul>		0 : 4 9
3. ポリエステルテープを外被根本で除去	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリエステルの押さえ巻きテープ（透明なテープ）を外被根本で除去する。</li> </ul>		1 : 2 4
4. 遮蔽テープを折り返し、カット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遮蔽テープを切り込みなど破がないように気を付けながら折り返す。</li> <li>・ 折り返した遮蔽テープを 5 cm程度残して除去する。</li> <li>・ 除去するときは、ニッパーで切れ込みを入れケーブル外周に沿うように除去する。</li> </ul>		1 : 3 9
5. 銅テープにドレインワイヤを包むように巻く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドレインワイヤと遮蔽テープがしっかりと接触するように銅テープで巻く。</li> <li>・ 銅テープを巻く際は、ドレインワイヤを折り返し、下から銅テープ、ドレインワイヤ、銅テープの順で覆うようにする。</li> </ul>		2 : 4 3
6. 余分なドレインワイヤをカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余分なドレインワイヤを巻いた銅テープ端で切断する。</li> <li>・ ポリエチレンテープ（半透明なテープ）を外被端で除去するとき、心線を傷付けないように注意してニッパーで切れ込みを入れ除去する。</li> <li>・ 余ったテープもニッパーでなるべく根元まできれいに除去しておく、後の作業がしやすくなる。</li> </ul>		3 : 1 0
7. 十字介在をカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心線を傷付けないように注意してニッパーで切れ込みを入れ除去する。</li> </ul>		4 : 0 8
8. 本体のシールド部を少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心線をプラグに固定しやすくするため、プラグ本体のシールド部を約 30° 広げる。</li> </ul>		4 : 3 3

し 広 げ、 IDC カバー を外す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シールド部は広げすぎると破損する可能性がある。</li> <li>・ 装着されている IDC カバーを取り外す。</li> </ul>	
9. 本体の結束 ラベルと心 線の色を合 わせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これから作業するケーブルが、端末 1 側か端末 2 側かを確認し、色のペアを分ける。</li> <li>・ 端末 2 側の場合、青・茶のペアとオレンジ・緑のペアを交差するように折り返し、端末 1 側と同じ並びに分ける。</li> </ul>	5 : 0 7
10. 心線を整線 し、本体の 溝に入れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心線の撚りを戻し真っ直ぐに整線し、プラグ本体の結線ラベルに合わせて心線を溝に入れ込む。</li> </ul>	5 : 4 5
11. 余分な心線 をカット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余分な心線を除去するため、心線が飛ばないように心線を抑えながら切断する。</li> <li>・ 心線の切断する位置は、IDC カバーの厚み分を残してカットする。(1~2mm 程度隙間を開ける)</li> <li>・ カットする位置が長いと IDC がバーが入らず、短過ぎると接続不良となる可能性がある。</li> </ul>	6 : 4 5
12. IDC カバー を押込み、 心線を圧接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IDC カバーをプラグ本体に取り付ける。</li> <li>・ IDC カバーを押込み、心線を圧接する。</li> <li>・ 圧接の際は工具を使うとコネクタを破損させる可能性があるの で手で圧接する。</li> </ul>	7 : 1 6
13. プラグ本体 にカバーを 取り付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラグ本体にカバーを取り付ける。</li> <li>・ カバーの刻印がコンタクト側になるように向き合わせる。</li> </ul>	7 : 3 5
14. カバーにキ ャップを取 り付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャップを取り付け、カバーを固定する。</li> <li>・ 根元までねじ込み過ぎるとケーブルが変形する可能性があるた め、ねじ込む目安としてネジ山つ分残す。</li> </ul>	7 : 5 3
使用器具	ニッパー、ケーブルストリッパ (日本製線 NSWST-M)、カッターナイフ	
使用材料	モジュラプラグ (日本製線 RMFM45-C6A)、Cat.6A F/UTP ケーブル	
最終更新日	2022/02/15	